

(別紙4(2))

事業所名: グループホームサンハイツ夢が丘

目標達成計画

作成日: 令和 8 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化に向けた委員会や研修の議事録の内容が薄い。	身体拘束適正化に向けた委員会や研修の日時や具体的な内容、参加状況を表面化する。	研修や委員会を行った後に、職員の感想や意見を記録し、理解を深める。	3ヶ月
2	10	ご利用者様や家族様への情報発信の工夫が必要。	入居者様やご家族様の意見を表向きしやすい仕組みづくりを行う。	評価機関名の明記を行う。意見箱の設置を行い、家族様との関わりをもっと親密に行う。	3ヶ月
3	26	介護計画の短期目標が、職員間での共有や日々の記録との連動ができていない。	ケアプランの目標達成に向けた支援をチーム全体で行い、統一し、質の高いケアを提供する。	職員間での共有の為にケアプランの周知を進めそれに沿った日々の記録を行う。	3ヶ月
4	35	災害訓練では、車椅子の搬送や夜間の少人数の体制を想定した訓練の実施を行う必要がある。	災害対応力の実効性を高める。	避難導線の確認や職員間での役割分担を具体的に検証し、様々な災害を想定した訓練を行う。	3ヶ月
5	45	脱衣所とお風呂場での温度差によるヒートショックを予防するための工夫が必要。	ご入居者様が安全に入浴できる環境づくりを行う。	脱衣所に温度計を設置し、室内の温度管理を行いヒートショックを起こさないようにする。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。